

【取組内容】 実践研究発表会のデジタル活用（校務DX）

今年度行った実践研究発表会では、参加申込・指導資料の配付・研究討議などの運営に関わるものをデジタルに置き換えた。申込者専用サイトを構築し、会に関わる資料の提供、連絡を行った。



図1.専用サイトのトップページ



図2.研究紀要のページ

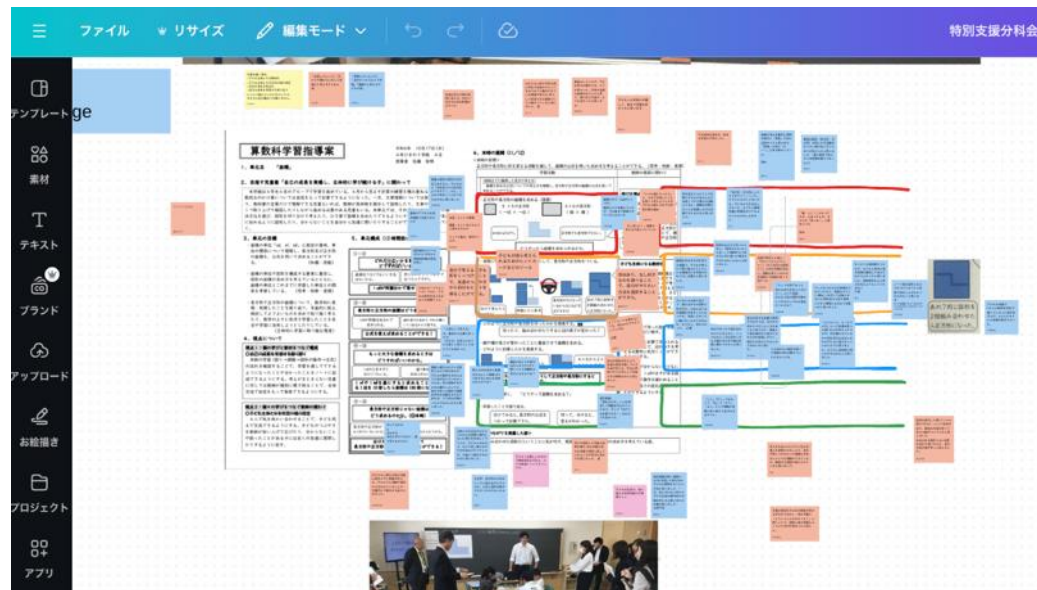


図3.研究討議のホワイトボード

研究討議会では、参会者に共有されたボードを活用しながら進行的な研究の視点や教師の関わりなどの成果と課題を、色分けした付箋で整理し討議する形式である。紙媒体の交流と異なり、写真を適宜挿入できる点が特徴である。例えば、児童の活動の様子や事前に用意した教材の写真をボードに貼り付けることで、参加者全員が具体的なイメージを共有しやすくなる。また、リアルタイムで新しい情報を加えたり、記録を振り返ったりできる点も大きな利点である。これにより、従来以上に深い議論や創造的な意見交換が可能となった。